

ケーススタディ 1
北海道教育大学附属札幌小学校 5年生 宿泊研修
「黒松内自然体験学校」
プログラムの概要

日程	活動名・内容	ねらいなど
1日目 午後	アイスブレイキングゲーム ・ 生態系オニごっこ ・ アイコンタクト ・ 人間知恵の輪	3日間導入 1 仲間づくり・人間関係
	全体のプログラム導入 ・ 水の飲み比べ ・ 恐竜の飲んだ水	3日間の導入 2 ねらいへ意識づけ 水は循環しているので、恐竜が飲んだ水も、君が飲んでいる水も同じ。
	クラス活動 1 1 組森プログラム ・ 木のデッサン 1 ・ カムフラージュ ・ 箱の中身は？ ・ 歌オブナ林ガイドウオーク 木のデッサン 2	導入 何も見ずに木の絵を書く 5感を使って森をみるトレーニング 本体 天然記念物にも指定されている歌オブナ林の巨木に触れる。 まとめ もう一度木の絵を描き、その変化を見る。
	2 組川プログラム ・ 川のレスキュー体験 ・ 支流での魚探し ・ 箱めがねを持ってフローティング（川流れ）	導入 本体 ライフジャケットつけて、川を数百メートル流れる。 流れが緩やかでたくさんの魚が見える朱太川ならではの。 まとめは夜のプログラム
	夕食 自由時間	
	ナイトプログラム 1 組ブナの森のスライド 2 組水の旅・ストーリー作り	1日目の振り返りまとめ サイコロゲーム。自分が水となって旅をする。

2日目	午前	クラス活動 2 1 組川プログラム 2 組森プログラム	
	午後	昼食	
		全体活動 ・プロジェクトワイルド「魚をつくろう」	海プログラムへの導入 想像力を働かせ、寿都湾でもっとも適応した魚を描く
		海プログラム ・ 地引網体験 ・ 漁師さんのお話 ・ 魚を食べる	本体 まとめ 1 まとめ 2
		入浴	
		夕食 自由時間	
	ナイトプログラム 1 組水の旅・ストーリー作り 2 組ブナ森のスライド・ ストーリーテリング(高木)		

3日目	午前	グループ活動(選択グループ) ・ カヌー ・ 貝化石 ・ クラフト ・ 釣り	子どもたちの主体性をもって取り組めるように選択性
		まとめ アンケート	
		昼食	
		歌才自然の家出発	
		終了・札幌へ	

プログラムづくり

1、学校からの相談内容

- ・ 5年生の宿泊研修。人数は80人。
- ・ 北海道らしい良質でダイナミックな自然体験をさせたい。
- ・ ラフティングやカヌーをただ単体で体験するのではなく、つながりを持たせ、なんらか

のねらいのある教育活動としたい。

- ・ どの体験施設にでもあるような金太郎飴みたいな活動では満足できない。
- ・ 宿泊研修のねらいである仲間との社会性や協調性を養うことも加味してほしい。
- ・ 予算は6年生の修学旅行と同じにしたい。
- ・

2、ねらいの決定

a 子どもたちの分析

・ 知識欲は高い。・ 父母にも自然体験に対して理解がある。都市近郊にすんでいるため、本物を見る機会は少ないかもしれない。・ 自分と自然がつながっていないかもしれない。

b 地域の分析（ポテンシャル分析）黒松内町

- ・ 天然記念物の歌オブナ林・清流朱太川・寿都湾・日常的に子どもたちを受け入れているぶなの森自然学校がある。環境学習などに理解のある宿泊施設などがある。

c 以上を加味して決めたねらい

「森と川と海そして自分とみんなもつながっている」

3、ストーリー（流れ）のあるプログラムを決定

本体は、森、川、海の本物に触れることにし、それぞれに導入、まとめプログラムを配置した。その3つと自分を結ぶものとして「水」を意識させた。

自然体験が仲間づくりにもつながるような活動（アクティビティ）を使った。

また、プログラムの深さ、自然へのインパクトを考え、人数小分けにし、交代で行った。

4、プログラムの実施

1 概要を参考

5、ふりかえり

先生からの感想例（抜粋）

- ・ 今までの宿泊学習とはまったく違うスタイルとなった。
- ・ ねおすという専門NPOのスタイルやプログラムフローに沿うことで「価値ある自然体験」というシャープなねらいになった
- ・ 仲間作り＝歌、集会、ゲームという発想ではなく、「価値ある自然体験の共有」がなかまづくりにもなることを目の当りにした。
- ・ すべてを学校の教師が企画するという従来のパターンでは決して体験させることができない内容が豊富に盛り込まれており、専門家と協力することの意義は大きい。
- ・ 「お楽しみ」レクがないのがいい。
- ・ 私たちは自然についてあまり知らないことを再認識した。

父兄からの感想例（抜粋）

- ・ 子どもが帰って来たときの第一声が「お母さん楽しかった」。これが親としては何よりうれしい。満足感がたかいと分かった。
- ・ 学校でビデオを拝見したが、ただ単なるあそびではなく、そこには深い意味、特に生態

系の理論があることを身をもって体験しているのだとわかり感動しました。

- ・ 費用はアップしましたがこの内容であれば納得です。
- ・ 普通の学校授業も大切ですが、このような学習機会も大変重要だと感じました。
- ・ 身近な自然への気づきかされるところから、「どうしたいか?」「どうすべきか」を考える気持ちにさせる構成のすばらしさに驚いた。
- ・ 雨の日のスケジュール交換があったのがよかった。
- ・ 安全管理もプロの人がいてくれて安心だった。
- ・ 子どもたちには五感が揺さぶられたのがよかったようだ。